

Tire Instructions (タイヤの取り扱いについて)

やあ、どうも。このサーリー製品のために苦勞して稼いだお金を使っただきありがとうございます。サーリーの製品は有用で耐久性を持つよう設計されています。ですのでこの製品も長い間お客様に貢献すると確信しています。

△警告：サイクリングには危険が伴います。自転車部品はプロの整備士によって組み付け、お手入れを行って下され。自転車やアクセサリーの改造は行わないで下さい。全ての製品の説明書、メーカーのウェブサイトに乗っている警告を含む情報に目を通し、従って下さい。乗車の際は常にヘルメットをかぶりましょう。

△警告：タイヤは使用に伴いすり減って行く自転車パーツの一部です。タイヤはガラスや路上の破片など拾う恐れがあり、その結果タイヤやインナーチューブのパンク、空気圧の減少、自転車の制御や停止能力低下が起き、重傷や死を招く事故に至る恐れがあります。乗る前には常にタイヤの状態やリムにしっかりとハマっているか、空気がしっかりと入っているかを確認して下さい。前後のホイールをゆっくりと回して、トレッドやサイドウォールに切り傷やひどいすり減りが無いか確認してください。ダメージを受けたりすり減ったタイヤは乗る前に交換して下さい。

追加製品や安全の情報に関してはウェブサイトのwww.surlybikes.com/safetyをご覧ください。

Rim Compatibility with Surly Tires (サーリータイヤとリムの互換性)

- ナード (700c x 41mm)—23-30mm幅リムでの使用を想定した設計
- +シリーズ (2.7 - 3.0")—35 - 65mm幅リムでの使用を想定した設計
- ブラックフロイド 26 x 3.8"—50 - 65mm幅リムでの使用が最適
- ファットタイヤ (3.7 - 4.3") tires—50 - 100mm幅リムでの使用が最適
- よりファットなタイヤ(4.5 - 4.8") tires—65 - 100mm幅リムでの使用が最適

メモ：リム幅は全て一般的に外側両端の幅を列記しています。

メモ：製造メーカーの設計の違いにより、サーリーリムでは大丈夫でも幾つかの他社のリムにはサーリーのタイヤがハマらないことがあります。また逆にサーリーのタイヤは大丈夫でも幾つかの他社のタイヤはサーリーのリムにはハマらないことがあります。安全で最も信頼出来る組み合わせと言う点で、サーリー製のタイヤとサーリー製のリムと一緒に使っていただくことをお勧めします。

△警告：誤ったサイズのタイヤ取り付けは乗車時にフォークやフレームへの干渉を引き起こし、これにより自転車の操舵を失い投げ出される恐れがあります。これは回転しているタイヤがフォークやフレームに当たることで回転を止められるからです。フォークやフレームにこすったり当たってしまう、クリアランスが極端に少ない、もしくは乗車時やサスペンションが沈み込んだ時にフォークやフレームと干渉する太すぎるタイヤは装着しないで下さい。選んでいただいたタイヤがお乗りの自転車のフォークやフレームの設計と互換性があるか気を配って下さい。またフロントフォークやリアショックの製造メーカーの推奨値に従って下さい。タイヤ選択の際はサイドウォールに記載されているサイズと、実際にリムにはめて空気を入れたサイズは異なる場合があることを考慮ください。新しいタイヤを装着した際は常に回転するタイヤとフレーム上の全てのパーツの間に確かなクリアランスがあることを調べる時間をとって下さい。

△警告：乗る前には前後輪の状態と触れ具合を確認し、フレーム、ホイール、タイヤ、そしてリムの間に十分なクリアランスがあることを確認して下さい。サーリーはASTM コンディション1の自転車には4mm以上のクリアランス、コンディション2より上の自転車では6mm以上のクリアランスがあることを推奨します。

△警告：タイヤの幅に対し極端に細いリムはタイヤの安定性に悪影響を与え、リムからはずれて重傷や死を招く事故を引き起こす恐れがあります。幅の広すぎるリムはタイヤの外形を変え、結果として操舵感覚を変えます。加えて幅の広いリムはタイヤのケーシング部分をトレッドの接地面から超えて伸ばすためケーシングに損傷を与えます。

△警告：チューブレスでの使用は推奨しません。現行のサーリーホイール、リム、そしてタイヤは従来のインナーチューブと共に使う設計となっています。サーリーのホイール、リム、タイヤをチューブレス仕様で使うことは保証を無効にし、部品の破損やホイールへのダメージを引き起こし、重傷や死につながる事故を引き起こす恐れがあります。

Tire Pressure (タイヤの空気圧)

それぞれのタイヤにはサイドウォールに許容出来る最大空気圧が刻印されています。一般的に最大空気圧はタイヤを取り付ける最中で使われるくらいで、サーリータイヤの使用時の推奨空気圧は以下の通りです。

5-15 PSI	Fat tires (3.7-4.8")
15-30 PSI	Plus tires (2.7-3.0")
50-70 PSI	Skinny tires (700c x 41mm)

△警告：サイドウォールに記載されている最大空気圧以上に空気を入れると事故やホイールの破損を引き起こす恐れがあります。

Tools Required (必要な工具)

- タイヤレバー
- ゲージつきフロアポンプ

Installing a Tire (タイヤの取り付け)

1. リムとリムテープを調べて下さい。タイヤがはめ込まれるリムの内側部分に破片が一切ないことを確認し、全てのスポークホールとニップルが埋まっていることを確認して下さい。リムもしくはリムテープに損傷が見られる場合、タイヤを取り付ける前に交換して下さい。
2. タイヤのどちらか片側のサイドをリムにはめ込んで下さい(図1)。
3. チューブに形を成すもタイヤよりも小さくなるよう少なめに空気を入れて下さい。
4. インナーチューブのバルブをリム上のバルブホールに差し込んで下さい(図2)。この際バルブにロックナットを取り付けても良いですが、リムに対して緩めた状態にしてください。インナーチューブ全体を取り付けかけのタイヤの中に入れて行ってください。その際チューブがねじれていないこと、バルブシャフトがリムに対して垂直であることを確認して下さい。
5. 反対側のタイヤサイドもバルブ口から注意深くリムにはめて行きます(図3)。この際インナーチューブがリムとタイヤの間に挟まれないよう注意して下さい。タイヤが完全にリムの中に収まるまで、この作業を苦労しながら進めて行って下さい。この作業が困難に感じたら、片方の手でタイヤをつかみ、ビードをリムの谷間部分に押し込んで行って下さい。手での装着が難しい場合、タイヤレバーの力を借りて装着することも可能です。その際はインナーチューブを挟んだりレバーでリムを痛めないよう気をつけて下さい。
6. タイヤの装着が済んだら、タイヤをつまみながらサイドウォールとリムサイドの間を見え進み、インナーチューブがリムとタイヤの間に挟まれているか確認してください(図4)。
7. 空気を入れてたいやの内圧を上げ、再度ステップ6の行程を繰り返してください。
8. 空気を入れて行く間、タイヤの両サイドにおいてビードのリム外端への移行具合を注視してください。タイヤがリムから離れて行くようなら作業をやめ、空気を抜いて再度空気を入れ直して下さい。空気の注入はビードが完全にリムに張り付くまで行って下さい。タイヤが完全に着座したかどうかはリムとタイヤのファインラインの間隔が両側ですべからく等しいことで確認出来ます。
9. 望むレベルまで空気圧を上げて行きます。
10. エアのバルブを閉め、指でロックナットを締め込み、バルブキャップを取り付けます。
11. 異常なふくらみや剥離、明らかな欠陥がないかを調べて下さい。



図 1



図 2



図 3



図 4

Removing a Tire (タイヤの取り外し)

1. バルブキャップを外し、エアバルブを開放して、空気を抜きロックナットを取り除きます。
2. タイヤのサイドウォールを内側に押し込み、リムに着座したタイヤを押し外して下さい。
3. 適切なタイヤレバーを使って、てこの作用で片側のビードを押し上げながらリムから取り外します。タイヤの種類によってレバーが2本必要になることもありますし、必要ないこともあります。
4. タイヤレバーをリムの外周に回して片側を完全にリムから離して下さい。
5. チューブをリムとタイヤから取り外して下さい。
6. 反対側もリムからタイヤを取り除いて下さい。

Ongoing Maintenance (使用中のお手入れ)

タイヤにしっかりと空気を入れて下さい。トレッドのすり減りやゴムの乾燥、素材表面の切り傷や破損がないか確認して下さい。長期使用の後、過度なすり減りが見られる場合はタイヤを交換して下さい。空気がすぐ抜けたり入れる際に異常なふくらみや変形を起こすようであればタイヤはもはや使えません。タイヤがすり減ればすり減るほど、パンクを起こす頻度も増えます。

注意: 直射日光に晒すと、お使いのタイヤの製品寿命は短くなります。

Limited Warranty (制限保証)

サーリーの製品は購入された日から1年間、材料上もしくは製造上の欠陥に対して、下記で詳述する制限を前提として保証を行います。購入証明として日付の入ったレシートを保管ください。

保証は以下については適用されません：

- 間違った取り付けや整備点検、技術の欠如や経験不足で行われる使用者自身の取り付けによる損傷
- 改造された、放置された、競技で使われた、営利目的で使われた、悪用、乱用された、もしくは事故にあった、その他通常使用の範疇を超える事例
- 販売状態の自転車と互換性のない、もしくは元来使用を意図されないコンポーネント、部品、アクセサリの取り付け
- ペイント、表面仕上げのダメージもしくは悪化、美観や製品の外観的要因
- 通常使用での消耗やほころび
- 自転車の組み付け作業における製品の取り外し、変更、再調整にかかる工賃

この制限保証はサーリーの判断によって行われる、欠陥のある製品の修理、もしくは交換に明確に限定される唯一の保証です。この制限保証は最初にサーリー製品を購入いただいた方にのみ適用され、譲渡は出来ません。この制限保証は正規代理店もしくはディストリビューターから製品を購入いただいた方にのみ適用されます。サーリーは直接的、付随的、必然的、もしくは何らかの明示もしくは暗示保証に違反することにより生じる、コンディション、市場性、特定の使用目的に対する適合性、その他のここに述べられる条件を除く弊社製品に関する如何なる損失、不便、損害に対しても支払いの義務を応じません。

この制限保証は消費者に特定の法的権限を与え、それらの権利は他の権利共々お住まいの地域により変わります。またこの制限保証はお客様の法定権利に影響を及ぼしません。

法令が認める範囲で、これらの保証は唯一のものであり、他の表示もしくは暗示された保証、コンディションを含めた保証、市販上のコンディション、特定の目的に対する適合性などの保証は一切適用されません。

他の製品に関して：

決してがっかりさせることのない他の全ての製品に関してはモトクロスインターナショナル、もしくは本国のサイト (<http://surlybikes.com>) をご覧ください。

Surly

6400 West 105th Street
Bloomington, MN 55438

The Watts Line: 877.743.3191

The Email: derby@surlybikes.com

The Web Address: www.surlybikes.com